

令和3年度アスリートドックプロジェクトによる成果の公表

山本 正嘉¹⁾, 藤田 英二¹⁾, 高井 洋平¹⁾

¹⁾鹿屋体育大学スポーツ生命科学系

本センターではこれまで3年単位で3回、計9年間にわたり本学の重点プロジェクト経費の配分を受けて、「アスリートドックプロジェクト」を実施してきた。10年目に当たる今年度は単年での実施とした。本プロジェクトの趣旨は、22巻(前号)に掲載した第3期の成果報告(p37~42)や、本号のp41~46でも述べたので、ここでは省略する。

今年度の成果のうち、文章で公表したものを以下に収録した。なお本センターでは、一般児童生徒の体力向上や、中高齢者の健康増進のための調査研究もあわせて行っている。これらも本プロジェクトの予算を活用して実施しているため、それらの研究成果も併記した。

<査読付き論文>

- ・志々目由理江, 藤田英二. 柔道選手における運動時に行う短時間の前腕筋群へのアイシングが把持筋持久力に及ぼす影響. 武道学研究, 54(1), 45-54, 2021.
- ・藤田英二. 光学式腕時計型心拍計は日々のエクササイズやトレーニングにおける運動強度の記録を精度良く行えるか? : 現行機種での検証. 柔道整復接骨医学, 30(2), 75-81, 2021.
- ・小原侑己, 木葉一総, 山本正嘉 : 大学女子バスケットボール選手が自分自身で個人トレーニングを考えられるようにするためのトレーナーによる介入のあり方についての提案 : 選手主導型と双方向型の取り組み事例の比較より. スポーツパフォーマンス研究, 13 : 291-315, 2021.

- ・藤田英二, 竹島伸生. 日常生活動作遂行時間に基づく高齢者の機能的自立度評価の可能性. スポーツパフォーマンス研究, 13, 329-336, 2021.
- ・幸福恵吾, 藤田英二, 中本浩揮, 竹島伸生, 中垣内真樹. 地域在住高齢者を対象とした集団型二重課題運動による身体機能と認知機能への効果. スポーツパフォーマンス研究, 13, 195-208, 2021.
- ・小崎亮輔, 小澤雄二, 藤田英二, 菅波盛雄. 長期的柔道実践者の健康関連QOLおよび体組成に関する一考察. スポーツパフォーマンス研究, 13, 588-601, 2021.
- ・Kai T, Hirai S, Anbe Y, Takai Y. A new approach to quantify angles and time of changes-of-direction during soccer matches. PLoS One, 16 (5) : e0251292, 2021
- ・Numao S, Urita Y, Matsumura I, Takai Y, Uchida R, Kurosaki T, Nakagaichi M. Difference in circulating fatty acid binding protein 4 concentration in trained men. Gazz Med Ital - Arch Sci Med, in press
- ・Baltasar-Fernandez I, Alcazar J, Losa-Reyna J, Soto-Paniagua H, Alegre LM, Takai Y, Ruiz-Cárdenas JD, Signorile JF, Rodriguez-Mañas L, Garcia-Garcia FJ, Ara I. Comparison of available equations to estimate sit-to-stand muscle power and their association with gait speed and frailty in older people:practical applications for the

5-rep sit-to-stand test. *Exp Gerontol*, 156, 111619, 2021

- ・山本正嘉, 照内明良, 笹子悠歩: 登山のガイドブックに記載されているコースタイムの特性. *登山医学*, 40: 146-153, 2020. * (発行日は2020年となっているが, 実際は2021年度に刊行されたため, 本年度分として記載した。以下の3つの*も同様)
- ・笹子悠歩, 照内明良, 井出里香, 油井直子, 安藤真由子, 山本正嘉: 常圧低酸素室と富士山を利用した海外での高所登山のためのアクティブ・ラーニングの試み. *登山医学*, 40: 92-99, 2020. *
- ・照内明良, 山本正嘉: 一般登山者の登高速度の実態調査. *登山医学*, 40: 126-130, 2020. *
- ・井出里香, 油井直子, 笹子悠歩, 照内明良, 山本正嘉: 富士登山における体幹2点歩行動揺計による動的歩行バランスの評価. *登山医学*, 40: 109-114, 2020. *

<査読なし論文, 寄稿論文/論考など>

- ・升方美優, 藤田英二. 光学式3次元人体形状計測装置を用いた体型変化の視覚化ならびに他者との体型比較. *スポーツトレーニング科学*, 22: 7-11, 2022.
- ・三坂彩友, 木葉一穂, 山本正嘉: 大学女子バスケットボール選手における練習日誌の効果的な活用方法を探るための取り組み事例. *スポーツトレーニング科学*, 22: 23-31, 2022.
- ・田仲駿太, 山口大貴, 山本正嘉: 1型糖尿病を有する大学自転車競技者が自身に合った血糖値コントロール法を身につけるための取り組み. *スポーツトレーニング科学*, 22: 33-39, 2022.

- ・石井翔平, 山本正嘉: インターナルインピンジメント症状による疼痛の除去を目的とした元野球選手の取り組み事例. *スポーツトレーニング科学*, 22: 13-21, 2022.
- ・藤田英二. 小学生柔道選手の体重や身体組成について思うこと. *柔道*, 92(4), 48-55, 2021.
- ・竹島伸生, 窪田友樹, 藤田英二. 高齢者のADL向上のためのパワートレーニング. *Strength & Conditioning Journal: 日本ストレングス&コンディショニング協会機関誌*, 29(1), 4-14, 2022.
- ・山本正嘉: 日本の一般登山道におけるコースタイム設定の現状と標準化に向けての提案. *登山研修*, 37: 12-18, 2022.

<著書, 監修書>

- ・能勢博, 山本正嘉, 猪熊隆之, 宮内佐季子: 科学が教える山歩き超入門. エクシア出版, 2021. (pp.45-69, 71-97, 176-179を監修)
- ・山本正嘉: 運動生理学とトレーニング学. 新・高みへのステップ第1部, 国立登山研修所指導者テキスト編集委員会. 日本スポーツ振興センター, 2022, pp.126-164.